

平成24年度 第11回治験審査委員会 結果報告

1. 開催日時 平成25年2月18日(月曜日) 午後5時00分～午後5時40分
2. 開催場所 岐阜市民病院 第3会議室
3. 出席委員名
高橋 浩毅、笠原 千嗣、池田 貴英、山田 誠、後藤 千寿、佐橋 誠、
小松 博子、中島 豊之、影山 聡、後藤 左右吉、川並 秀賢
4. 議題及び審議結果を含む主な議論の概要
 - 1) 以下の新規申請(治験)において、これまでに得られている試験成績に基づき、治験実施の妥当性について審議した。
申請なし
 - 2) 以下の新規申請(製造販売後臨床試験)において、これまでに得られている試験成績に基づき、製造販売後臨床試験実施の妥当性について審議した。
申請なし
 - 3) 以下の新規申請(自主研究)において、自主研究実施の妥当性について審議した。
委託研究
JBCRG-C05
(HER2 陰性の手術不能又は再発乳癌患者を対象としたベンバズマブとパクリタキセルの併用療法の有用性を検討する観察研究)
審議結果：承認
 - 4) 以下の治験・製造販売後臨床試験において、試験期間が1年を超えるため、試験を継続して行うことの妥当性について審議した。
委託研究
SOFT
(切除不能大腸癌に対する 5-FU/I-LV/oxalipatin (FOLFOX) +bevacizumab と TS-1/oxalipatin (SOX) +bevacizumab とのランダム化比較第Ⅲ相試験)
審議結果：承認
 - 5) 以下の治験において、当院で発生した重篤な有害事象に関する報告について、引き続き試験を実施することの妥当性について審議した。
治験
ABT-450/R+ABT-267 (アッヴィ合同会社)
(C型慢性肝炎患者を対象としたABT-450/r とABT-267の併用療法の非盲検無作為化第Ⅱ相試験)
審議結果：承認
 - 6) 以下の製造販売後臨床試験において、当院で発生した有害事象に関する報告について、引き続き試験を実施することの妥当性について審議した。
報告なし
 - 7) 以下の治験・製造販売後臨床試験において、国内・国外で発生した重篤な副作用について、引き続き試験を実施することの妥当性について審議した。
治験
ABT-450/R+ABT-267 (アッヴィ合同会社)

(C型慢性肝炎患者を対象としたABT-450/r とABT-267の併用療法の非盲検無作為化第Ⅱ相試験)

審議結果：承認

治験
AG-013736 (アキシチニブ) (ファイザー)

(1 レジメンの抗血管新生療法に治療脱落した進行肝細胞癌患者を対象としてアキシチニブとプラセボを比較する二重盲検, 無作為化, 多施設, 国際共同試験)

審議結果：承認

治験
BI 201335 NA (日本ベーリンガーインゲルハイム)

(未治療ジェノタイプ1型C型慢性肝炎患者を対象に, ペグインターフェロン α -2a およびリバビリン併用下で, BI 201335 NA 120mgを1日1回 (12または24週間), またはBI 201335NA 240mgを1日1回12週間投与する, 二重盲検, ランダム化, プラセボ対照第Ⅲ相試験)

審議結果：承認

治験
BI 201335 NA (日本ベーリンガーインゲルハイム)

(標準治療 (ペグインターフェロン α およびリバビリン [PegIFN/RBV]) 抵抗性のジェノタイプ1型C型慢性肝炎患者を対象に, PegIFN/RBV併用下で, BI 201335NA 240 mgを1日1回12または24週間投与する, 二重盲検, ランダム化, プラセボ対照第Ⅲ相試験)

審議結果：承認

治験
BI 201335 NA (日本ベーリンガーインゲルハイム)

(ジェノタイプ1型C型慢性肝炎患者を対象とした, ペグインターフェロン α -2bおよびリバビリン併用下におけるBI 201335 NA投与時の安全性, 有効性および薬物動態の検討)

ーコホート1: 未治療患者にBI 201335 NA を12週間または24週間投与するランダム化, 二重盲検試験

ーコホート2: 標準治療抵抗性患者にBI 201335 NAを24週間投与するオープンラベル試験)

審議結果：承認

治験
BMS-650032/BMS-790052 (ブリストル・マイヤーズ)

(ジェノタイプ1 b のC型慢性肝炎未治療患者を対象としたAsunaprevirとDaclatasvir併用療法のテラプレビル療法に対する第3相比較試験及び再燃患者を対象とした有効性と安全性の検討)

審議結果：承認

治験
DR-3355inj (第一三共製薬)

(DR3355 注射剤の尿路感染症を対象とした比較試験 (第Ⅲ相))

審議結果：承認

治験

EMD 5 3 1 4 4 4 / CY-MS J (メルクセローノ)

(化学放射線療法後の切除不能Ⅲ期非小細胞肺癌患者を対象とした

EMD531444(L-BLP25又はBLP25リポソームワクチン)の第Ⅰ/Ⅱ相臨床試験)

審議結果：承認

治験

KRN 3 2 1 (協和発酵キリン)

(KRN 3 2 1 第Ⅱ相並行群間比較試験—骨髄異形成症候群患者を対象としたKRN 3 2 1の並行群間比較用量反応試験—)

審議結果：承認

治験

MK-7009 (MSD)

(既治療の日本人C型慢性肝炎患者(再燃例)を対象とした、MK-7009、ペグインターフェロンアルファ-2b及びリバビリン併用投与の安全性、忍容性及び有効性を評価するための第Ⅲ相試験 044)

審議結果：承認

治験

MK-7009 (MSD)

(既治療の日本人C型慢性肝炎患者(無効例)を対象とした、MK-7009、ペグインターフェロンアルファ-2b及びリバビリン併用投与の安全性、忍容性及び有効性を評価するための第Ⅲ相試験 045)

審議結果：承認

治験

MP-424 (田辺三菱製薬)

(MP-424のC型慢性肝炎(Genotype 2:再燃例)を対象とした臨床試験
ペグインターフェロンアルファ 2b(遺伝子組換え)及びリバビリンとの併用試験)

審議結果：承認

治験

NIK-333 (興和)

(NIK-333(ペレチノイン)のC型肝炎ウイルス陽性肝細胞がん根治患者を対象に肝細胞がん再発に対する有効性及び安全性評価を目的としたプラセボ対照、多施設共同、無作為化二重盲検第Ⅲ相試験)

審議結果：承認

治験

Ro50-8231 (中外製薬)

(EGFR 遺伝子変異を有する非小細胞肺癌患者に対する一次療法としてのベバシズマブ+Ro50-8231(エルロチニブ)併用療法とRo50-8231単剤療法を比較する非盲検無作為化比較第Ⅱ相臨床試験)

[治験実施計画書別紙1：治験依頼者の体制]

審議結果：承認

- 8) 以下の治験・製造販売後臨床試験において、変更申請及び添付資料に基づき、引き続き試験を行うことの妥当性について審議した。

治験

AG-013736 (アキシチニブ) (ファイザー)

(1 レジメンの抗血管新生療法に治療脱落した進行肝細胞癌患者を対象としてアキシチニブとプラセボを比較する二重盲検, 無作為化, 多施設, 国際共同試験)

[・同意説明文書：安全性情報の更新 ・国内治験実施体制：治験依頼者責任者と臨床試験実施担当者の変更、期間延長 ・治験参加カード]

審議結果：承認

治験

BI 201335 NA (日本ベーリンガーインゲルハイム)

(未治療ジェノタイプ1型C型慢性肝炎患者を対象に, ペグインターフェロン α -2a およびリバビリン併用下で, BI 201335 NA 120mgを1日1回 (12または24週間), またはBI 201335NA 240mgを1日1回12週間投与する, 二重盲検, ランダム化, プラセボ対照第III相試験)

[・治験薬概要書の変更 : 変更一覧参照]

審議結果：承認

治験

BI 201335 NA (日本ベーリンガーインゲルハイム)

(未治療ジェノタイプ1型C型慢性肝炎患者を対象に, ペグインターフェロン α -2a およびリバビリン併用下で, BI 201335 NA 120mgを1日1回 (12または24週間), またはBI 201335NA 240mgを1日1回12週間投与する, 二重盲検, ランダム化, プラセボ対照第III相試験)

[・Summary of puroduct Characteristics (製品特性概要) コペガスの改定]

審議結果：承認

治験

BI 201335 NA (日本ベーリンガーインゲルハイム)

(標準治療 (ペグインターフェロン α およびリバビリン [PegIFN/RBV]) 抵抗性のジェノタイプ1型C型慢性肝炎患者を対象に, PegIFN/RBV併用下で, BI 201335NA 240 mgを1日1回12または24週間投与する, 二重盲検, ランダム化, プラセボ対照第III相試験)

[・治験薬概要書の変更 : 変更一覧参照]

審議結果：承認

治験

BI 201335 NA (日本ベーリンガーインゲルハイム)

(標準治療 (ペグインターフェロン α およびリバビリン [PegIFN/RBV]) 抵抗性のジェノタイプ1型C型慢性肝炎患者を対象に, PegIFN/RBV併用下で, BI 201335NA 240 mgを1日1回12または24週間投与する, 二重盲検, ランダム化, プラセボ対照第III相試験)

[・Summary of puroduct Characteristics (製品特性概要) コペガスの改定]

審議結果：承認

治験

BI 201335 NA (日本ベーリンガーインゲルハイム)

(ジェノタイプ1型C型慢性肝炎患者を対象とした、ペグインターフェロン α -2bおよびリバビリン併用下におけるBI 201335 NA投与時の安全性、有効性及び薬物動態の検討)

ーコホート1：未治療患者にBI 201335 NA を12週間または24週間投与するランダム化、二重盲検試験

ーコホート2：標準治療抵抗性患者にBI 201335 NAを24週間投与するオープンラベル試験)

- [・治験薬概要書：変更一覧参照
- ・同意説明文書：概要書の改訂に伴う記載整備ため]

審議結果：承認

治験

BMS-650032/BMS-790052 (ブリストル・マイヤーズ)

(ジェノタイプ1 bのC型慢性肝炎未治療患者を対象としたAsunaprevirと

Daclatasvir併用療法のテラプレビル療法に対する第3相比較試験及び再燃患者を対象とした有効性と安全性の検討)

- [・治験薬概要書：BMS-650032 情報更新のため]

審議結果：承認

治験

DR-3355inj (第一三共製薬)

(DR3355 注射剤の尿路感染症を対象とした比較試験 (第Ⅲ相))

- [・治験薬概要書：年次改訂 (副作用・薬物相互作用追記、記載整備など)]

審議結果：承認

治験

MP-424 (田辺三菱製薬)

(MP-424 のC型慢性肝炎 (Genotype 2：再燃例) を対象とした臨床試験

ペグインターフェロンアルファ2b (遺伝子組換え) 及びリバビリンとの併用試験)

- [・治験実施計画書：併用注意薬の追加、見直しなど、

- ・治験参加カード：治験実施計画書別紙4の改訂 (併用禁止薬)]

審議結果：承認

治験

S-888711 (塩野義製薬)

(S-888711の慢性肝疾患による血小板減少患者を対象とした第2相用量探索試験

ー経皮的肝癌焼灼術施行予定患者での高用量の検討ー)

- [・治験実施計画書別紙の変換：治験期間延長、誤記修正]

審議結果：承認

9) 以下の治験・製造販売後臨床試験において、試験の終了 (中止) 報告がされた。
報告なし

10) 以下の治験・製造販売後臨床試験において、その他の報告がされた。

治験

ARQ197 (協和発酵キリン)

進行又は転移性の非小細胞肺癌患者を対象としたARQ 197 とエルロチニブの併用第Ⅲ相臨床試験

[・治験実施計画書からの逸脱に関する報告書：休薬規定の見落とし]

審議結果：了承

治験

MP-424 (田辺三菱製薬 東レ)

MP-424 の C 型慢性肝炎 (Genotype 1 : 初回治療例及び再治療例、Genotype 2 : 再治療例) を対象とした臨床試験

インターフェロンベータ及びリバビリンとの併用試験)

[・治験実施計画書等修正報告書：同意説明文書の軽微な修正]

審議結果：了承